

授業科目 栄養教育論Ⅰ

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	健康
斎藤 トシ子		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 健康・栄養状態、食行動、食環境等に関する情報を収集・分析し、それらを総合的に評価・判定する方法を学ぶ。さらに、小集団への栄養教育プログラムの作成・実施・評価の総合的なマネジメントに必要な理論と方法を学ぶ。さらに保健指導におけるカウンセリングと行動変容理論の基礎を学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 栄養教育の概念を知る 2. 栄養アセスメントの目的、意義、内容、方法を説明できる 3. 小集団教育のカリキュラム、指導案立案の方法を知る 4. ヘルスカウンセリング、行動変容理論等の意義と具体的な方法を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション、栄養教育の概念（定義、目的、目標）			1	講義
2	栄養教育の概念（栄養教育の歴史、対象、場、法律）			1	講義
3	栄養教育マネジメント（概要）、アセスメント（意義、目的、位置づけ、種類）			2	講義
4	アセスメント（身体計測、生理検査）			2	講義
5	アセスメント（生化学検査、臨床診査、食事調査）			2	講義
6	アセスメント（他調査）、問題点の抽出と明確化			2	講義
7	情報収集の方法、栄養教育の方法（学習形態、教材）			2	講義
8	栄養教育の評価（種類、方法、デザイン）			3	講義
9	栄養教育の評価（信頼性、妥当性）			3	講義
10	栄養教育計画（小集団）：目標設定、評価方法設定、カリキュラム作成			3	講義
11	栄養教育計画（小集団）：指導案の立案			3	講義
12	個別教育の基本、保健指導の方向性、行動変容ステージ			4	VTR, 講義
13	ヘルスカウンセリング技術、オペラント学習理論、自己効力理論			4	VTR, 講義
14	行動変容理論（健康信念モデル、保健行動のシーソーモデル、コーチング）			4	講義
15	行動変容理論（社会学習理論、行動技法）			4	講義
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 丸山千寿子 他		南江堂	2008・3,200円＋税
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、授業中の態度、課題発表、定期試験から総合的に評価する			【履修上の留意点】		